

1. 科目名 (単位数)	障害児療育 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP2341 SNMP2341 SCMP2341 SBMP2341 SJMP2119						
2. 授業担当教員	加藤 洋子								
4. 授業形態	講義、DVD視聴、演習	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>「療育」という用語は、狭義には障害の早期発見から就学までの取り組みの意味で使われ、広義には成人の生活支援も含み、医療・福祉・教育にまたがる分野で使われている。近年、明確な診断のない「気になる」子どもや被虐待児もその対象となり、ノーマライゼーションの理念の理解とともに発達や障害についての幅広い知識が必要となるばかりか、親支援や地域の子育て支援も保育士の重要な役割となっている。</p> <p>本科目では、知的障害、肢体不自由、視覚障害や聴覚障害、自閉スペクトラム症を含む発達障害や、診断はないが「気になる」子どもを対象に、年齢は乳幼児から成人まで、場所は一般の保育所のみならず、病院内保育、施設内保育等、幅広い視野で「療育」を捉え、保育士としての専門性を培う。</p>								
8. 学習目標	<p>インクルーシブ保育の場では、障害のある子どもやその子を支える家族の生活・心情をふまえた支援とともに、障害のない子どもへの配慮や共生社会の形成を念頭においた教育もできるようになる。また、専門機関においても、医療・福祉と連携しながら保育士としての専門性を発揮して、適切な支援ができるようになる。</p> <p>① 幅広い対象、場、形態に及ぶ「療育」の理念や概念について知る。 ② 障害に関する医療・社会福祉・教育の制度についての基礎知識が身に付く。 ③ 障害のある子どものいる家族の生活や心情について共感できるようになる。 ④ 定型発達についての基礎知識を基盤に、障害のある子どもの育ちに見通しをつけられるようになる。 ⑤ 様々な専門家の役割を知って、障害のある子どもや保護者を中心とした連携・協働ができるようになる。</p>								
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート課題：与えられた事例について、書式にしたがってレポートしてください。 ・小テスト：用語の理解について小テストを実施します。 ・期末レポート課題：事例についての論文課題：「あなたが考えるよりよい療育実践について、事例にもとづいて論説しなさい」障害児療育の基本的な考え方が身に付いたかどうかを確認します。 								
10. 教科書・参考書・教材	<p>乳幼児の発達—運動・知覚・認知 ジャック ヴォークレール (著)その他 新曜社 (2012/3/1)</p> <p>【参考書】</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 障害児者に関する自分なりの課題意識をもち、最新の理念を積極的に学んだか。 2. 本人や家族への支援について正しい知識を身につけたか。 3. 定型発達の順序性について理解し、実践場面で応用できるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業態度</td> <td>総合点の40%</td> </tr> <tr> <td>2 小テスト</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の40%</td> </tr> </table> <p>*なお、本学規定の「3/4以上の出席」が単位修得の条件であることも判断規準となる。</p>			1 授業態度	総合点の40%	2 小テスト	総合点の20%	3 課題レポート	総合点の40%
1 授業態度	総合点の40%								
2 小テスト	総合点の20%								
3 課題レポート	総合点の40%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>子どもたちの心身の発達は目覚ましく、正常発達を理解することにより、発達が困難な状況にある子どもたちのペースや段階を踏まえながらアセスメントし、持てる力を引き出していくことができます。また子どもたちの関心から社会性を引き出し、親子で、または他児とのかわりの中で乳幼児が安心して楽しく過ごすための家庭環境や療育・保育環境についても考えていきましょう。個々への働きかけ、集団としての働きかけ、遊びや遊具を介しての正常発達を基盤とした促しについて習得していきましょう。</p> <p>授業のみならず、機会を捉えて地域のボランティア活動や療育・教育活動に参加することをお勧めします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業中の私語、居眠り、携帯電話の操作、飲食等は禁止します。 ・休憩時間と授業の区別をしましょう。大学生として節度ある態度で授業に臨んでください。 								
13. オフィスアワー	別途通知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション 障害の理解①	事前学習	障害のある子どもとの体験または自分が子どもの頃に困らせたことを家族に聞いてまとめてくること A4の半分程度						
		事後学習	グループワークでの課題整理						
第2回	障害の理解② 子どもの生活を支える福祉や医療、各種法制度 医療的ケア児者支援法案	事前学習	「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」について調べ発表する準備を行う						
		事後学習	子育てのしづらさとその対応についてまとめること						
第3回	障害の理解② 子どもの生活を支える福祉や医療、各種法制度 発達障害児者支援法案	事前学習	発達障害者支援法の定義や発達障害児の支援サービスについてまとめる						
		事後学習	子育てのしづらさとその対応についてまとめること						
第4回	障害のある子の発達と遊び・家族支援①	事前学習	障害のある子の発達と遊び・家族支援に関するグループでの課題整理とまとめ						
		事後学習	障害のある子の発達と遊び・家族支援に関する						

			るグループでの発表資料の作成
第5回	障害のある子の発達と遊び・家族支援②	事前学習	障害のある子の発達と遊び・家族支援に関するグループでの課題整理とまとめ
		事後学習	障害のある子の発達と遊び・家族支援に関するグループでの発表資料の作成
第6回	障害のある子の発達と遊び・家族支援③	事前学習	障害のある子の発達と遊び・家族支援に関するグループでの課題整理とまとめ
		事後学習	障害のある子の発達と遊び・家族支援に関するグループでの発表資料の作成
第7回	療育の種類、早期療育・相談事業	事前学習	障害のある子の発達と遊び・家族支援に関するグループでの課題整理とまとめ
		事後学習	障害のある子の発達と遊び・家族支援に関するグループでの発表資料の作成
第8回	地域における専門機関の役割とサービス	事前学習	障害のある子の発達と遊び・家族支援に関するグループでの課題整理とまとめ
		事後学習	障害のある子の発達と遊び・家族支援に関するグループでの発表資料の作成
第9回	発達及び障害に関する用語の理解	事前学習	障害のある子の発達と遊び・家族支援に関するグループでの課題整理とまとめ
		事後学習	障害のある子の発達と遊び・家族支援に関するグループでの発表資料の作成
第10回	「気になる子」と保育援助 小テスト グループ演習1, 2 知的障害を伴う子どもと保育援助	事前学習	知的障害のある子どもへの療育の配慮点をまとめておく
		事後学習	どのような保育援助をしたいかまとめる
第11回	「気になる子」と保育援助 小テスト グループ演習3, 4 自閉スペクトラム症を伴う子どもと保育援助	事前学習	自閉症のある子どもへの療育の配慮点をまとめておく
		事後学習	どのような保育援助をしたいかまとめる
第12回	「気になる子」と保育援助 小テスト グループ演習5, 6 肢体不自由や重症心身障害を伴う子どもと保育援助	事前学習	肢体不自由児のある子どもへの療育の配慮点をまとめておく
		事後学習	どのような保育援助をしたいかまとめる
第13回	「気になる子」と保育援助 小テスト グループ演習7, 8 視覚障害・聴覚障害を伴う子どもと保育援助	事前学習	視覚障害・聴覚障害を伴う子どもへの療育の配慮点をまとめておく
		事後学習	どのような保育援助をしたいかまとめる
第14回	就学への移行と特別支援教育	事前学習	自分が住んでいる市町村の就学前会議の意味・基準・参加者について教育委員会に確認してまとめる
		事後学習	専門用語の意味などを確認しておく。
第15回	論文課題「あなたが考えるよりよい療育実践について、事例にもとづいて論説しなさい」	事前学習	学んだことを振り返り、時間内に論文課題を終えられるよう考えをまとめておく。
		事後学習	授業全体を振り返り、理念や社会的意義を踏まえて障害児療育全般について振り返る。
15. 実務経験を有する 教員特記事項	川崎市（南部・中部・北部）の地域療育センターにおいて、障害児・者への支援に携わってきた実務経験を活かし、「7」に示す講義概要に則した講義を行う。		